

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	きっずるーむクローバー			
○保護者評価実施期間	令和7年11月20日		～	令和7年12月5日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26名	(回答者数)	24名
○従業者評価実施期間	令和7年11月20日		～	令和7年12月5日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月9日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員同士の連携がよく、チームで支援を行えていることです。 情報共有ができており、安心した支援につながっています。 今後も話し合いを大切にすることが期待されます。	支援前後に打合せを行い、役割や気づきを共有しています。 日々の記録や引き継ぎで情報を伝えています。 職員間で声をかけ合うよう意識しています。	打合せ内容を簡単に記録し、振り返りに活かします。 全職員が意見を出しやすい場を作ります。 支援の良かった点を共有する機会を増やします。
2	子ども一人ひとりに合わせた支援ができています。 個別活動と集団活動を使い分けています。 子どもの気持ちを大切にした支援を行っています。	子どもの様子をよく観察し、活動内容を調整しています。 新しい活動や工夫した遊びを取り入れています。 楽しみながら学べるよう意識しています。	支援のねらいを職員全員で確認します。 活動内容を一度整理し、個々に応じた対応をより取り組みやすくします。 子どもの成長や活動内容を記録に残し活用します。 新しいプログラムの考案やリニューアル、新規活動ボランティアの受け入れを進めます。
3	清潔で安全な環境づくりができています。 子どもが落ち着いて過ごせる場所になっています。 保護者との関係も大切にしています。	毎日の掃除や安全確認を行っています。 送迎時や定期的な面談の際に、保護者と話す機会を設けています。 参観日を設けて、クローバーでの活動の様子を見ていただくとともに、日々の様子を伝えています。	環境面の改善点を職員で話し合います。 保護者への情報発信方法や内容を工夫します。 安全についての説明をより分かりやすくします。 参観日の実施方法を工夫するとともに、保護者との交流及び保護者同士の交流の機会を増やします。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	建物のバリアフリー対応が十分でない箇所や利用しづらい箇所もあり、工夫が必要です。 個別スペースが足りない場面があります。	建物の構造上、すぐに直せない箇所があります。 スペースに限りがあります。 環境的に大規模改修や増築は難しいです。	安全面を優先し、可能な範囲での改善及び配置や使い方の工夫をします。 必要に応じて外部(業者等)と連携し相談を行います。
2	外部評価の実施や地域の関係機関との関わりが少ないです。 地域の他の子どもと活動や地域との交流の機会が少ないです。	地域への働きかけや外部とのつながりを作る機会が少ないです。 情報収集が十分でない場合があります。	地域行事や会議に積極的に参加します。 地域の学校や関係機関への働きかけや外部研修等の情報を共有をします。 地域資源を活用した活動や地域の方々との活動を積極的に取り入れ、交流の機会を作ります。
3	家族支援プログラムや活動(家族も参加できる研修会や情報提供の機会等)が少ないです。 医師の指示書等必要書類への対応が不十分なことがあります。	家族が参加できるような研修会や行事の実施があまりなく、情報提供の周知も十分にできていないことがあります。 書類の確認が後回しになったり不足してしまうことがあります。	家族が参加できるような研修会の機会や家族支援の情報収集などを行い、周知します。 必要な書類を確認し、準備整理します。